

STANDARD

2026年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント
代表者名 代表取締役社長 岡田 知裕
(東証スタンダード・コード 6425)
問合せ先 経営企画室 柴田 大介
(<https://www.universal-777.com/contact/>)

営業外費用（為替差損）の減少及び 特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

2025年12月期第4四半期連結会計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）において、営業外費用（為替差損）が減少となりました。また、特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の減少について

2025年12月期第3四半期連結累計期間（2025年1月1日～9月30日）において、為替差損5,598百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の変動に伴い、当第4四半期連結会計期間（2025年10月1日～12月31日）において、為替差益4,464百万円が発生したため、当連結累計年度（2025年1月1日～12月31日）における為替差損は1,134百万円になりました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当第4四半期において、統合型リゾート(IR)事業に係る固定資産について、足元の事業環境や今後の市場動向、収益性の回復に要する期間等を総合的に検討した結果、将来キャッシュ・フローの見通しを見直す必要があると判断いたしました。また、その他の固定資産につきましても、収益創出の性質や将来の収益見込みを踏まえ、回収可能性の検証を行いました。

その結果、連結決算においては、当該固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失229,115百万円を特別損失として計上いたしました。また、個別決算では、主に統合型リゾート(IR)事業における減損損失の計上による関係会社株式評価損144,195百万円、関係会社貸倒引当金繰入額21,147百万円と減損損失4,338百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該減損損失はキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。

3. 業績に与える影響

上記の営業外費用の減少及び特別損失の計上につきましては、本日公表しました「2025年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上